

# 特集

## ～常任委員会の審議より～

### 総務文教厚生委員会

#### 国民健康保険税、後期高齢者医療保険料率の改定について

国民健康保険税の改定については、増え続ける医療費に対する財源を確保し、国民健康保険財政の健全運営を図るために避けられない状況にあります。

これまでも国民健康保険基金を取り崩すなどの方策で市民の負担が増加することを抑制してきましたが、平成23年度末の基金残高が約1千万円になると見込まれ、保険給付に係る財源確保が困難になっています。

今後は国保税の増額とあわせて、事務費などの法定内繰入金を見直しながら、急激な負担増にならないようにしたいとの説明を受けました。

委員会では、国保税の増額が特に低所得者の負担にならないよう配慮を求め、増え続ける医療費を抑制する方策として、市役所の全部局が一体となって健康づくりに対する施策に積極的に取り組んでいく必要があることなどを指摘しました。

後期高齢者医療保険料率は、2年ごとに見直すため、平成24年度、25年度の2年間の療養給付額の見込みなどをもとに当該年度の新保険料率を福井県後期高齢者医療広域連合が算定する

ようになってきていることなどの説明を受けました。

昨今の保険料収入の伸び悩みと医療費が急増している状況では、保険料の大幅上昇は避けられないが、少しでも保険料を抑えるため最大限基金を活用することを検討しているという報告がありました。

#### 第5次介護保険事業計画について

平成24年度から26年度までの3力年を計画期間とする第5次介護保険事業計画の策定作業の進捗状況について報告がありました。

介護保険料については、介護給付費の50%を国・県・市で負担し、残りを介護保険料で負担する仕組みになっています。今後の新規事業の給付を見込みながら介護保険料を算出すると、今後3年間の介護に必要な金額が約80億円と予想され準備基金を取り崩したり、国や県の交付金を充当したりしても介護保険料を増額せざるを得ない状況です。

委員会では、国民健康保険税の議論でも指摘したとおり、介護が必要な状態にならないように、全市あげて健康を維持して年齢を重ねていくための取り組み

みをしていく必要があることと、増える仕事量に対して職員の資質向上や増員で対応し、リーダーとなる人材を強化していくよう指摘しました。

#### 成器西、南小学校耐震補強、改造工事について

児童の安全や教育環境を最優先に考えて、成器西小学校の南校舎、成器南小学校の南校舎と給食室の耐震補強工事と大規模な改造工事を、計画を前倒しして施工します。

また、今回の工事にあわせて普通教室にエアコンの設置とヘアガラスなどの入れ替えも考えていくとの報告がありました。手続きが順調に進めば、3月下旬には着工できるそうです。

#### 行政視察

当委員会では、11月8、9日に新潟県糸魚川市の「世界ジオパーク」の取り組みについて、「新潟県見附市の『健康（ウェルネス）』のまちづくりについて」を視察しました。

糸魚川ジオパークは、日本で初めて「世界ジオパーク」に認定され、フォッサマグナなど24のジオサイトを設定されています。世界ジオパークに認定されたことを契機に魅力あるジオパ

クを目指し、市民の皆様と連携し観光、教育などの各種事業を展開しています。

見附市では、筑波大学の協力を得ながら健康で生きがいをもって豊かな生活をおくる『健康（ウェルネス）』のまちづくりを進めています。市民の皆様へ健康教室への参加を促し、楽しく自分で健康管理ができるような工夫をした事業が展開されました。

国民健康保険加入者の年間医療費や介護認定率が低く、健康で歩けるまちで総合特区を申請しています。また、市の企画調整課の中に健康推進室を配置して、他の部署と連携しやすくなっています。

このような事例を今後の勝山市のジオパーク、健康増進の取り組みの参考にしていきたいと考えます。

